

市町村名	座間味村
------	------

平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1- 座間味村慶良間海域活用ダイビング利用ルール策定事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア
担当部署名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成25年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	-1-(1)

事業内容
観光と自然保護の両立を図るため、エコツーリズム推進法にて承認された本村と離村の渡嘉敷村からなる慶良間諸島海域利用にあたり、海域利用方法、保全方法、罰則等を定めた指針を策定し、自然と共存する観光地づくりを行う。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a)当初予算額	2,199	-			
	(b)予算現額	2,199	-			
	(c)増減額(b-a)	0	-			
	(d)繰越額	-	2,199			
	A.計(b+d)	2,199	2,199			
	B.執行済額	0	2,145			
	うち交付金充当額	0	1,716			
	次年度繰越額	2,199	2,199			
	執行率(%) (B/A)	0.0%	97.5%			
	予算の状況の説明	ルール策定にあたり関係者、関係機関とのルール内容の検討調整に時間を要したため繰越事業となった。ルールブックが当初予定していたページ数に満たなくなり、サッシ形式からチラシに変更して印刷したため減額となった。				

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度
		慶良間海域を活用するダイビング事業者の利用ルールの策定	目標 (策定)	()	()	()
	実績	策定				
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	渡嘉敷村と共同して、慶良間海域を活用するダイビング事業者が守るべき利用ルールやサンゴ保全活動計画の運用のありかたを定めるため、平成25年度に委託契約したが、ダイビング事業者の意見調整に時間を要し繰越して実施し平成26年度にルールを策定した。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)	
		目標	()	(策定)	()	()	()
		実績		策定			
		目標	()	()	()	()	()
	実績						
進捗状況説明	慶良間海域を活用するダイビング事業者が守るべき利用ルールやサンゴ保全活動計画の運用の在り方について、ダイビング関係者の代表者によるワークショップ形式で意見交換を行った。その過程で様々な課題が浮かび上がり、意見調整には時間を要したが、当初計画していた保全活動方法や回数を決定し、利用ルールを作成した。今後は沖縄本島支部、渡嘉敷村支部、座間味村支部でそれぞれこのルールの運用を行う。						

市町村名	座間味村
------	------

平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-	座間味村阿嘉漁港ターミナル機能強化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成25年度	観光客の受入体制の整備
			沖縄振興基本方針該当箇所	-1-(1)

事業内容
 阿嘉漁港は、生活航路として村営の高速船クィンざまみ、フェリ-ざまみが那覇泊港～阿嘉漁港間を毎日就航している。阿嘉漁港旅客待合所から定期船搭乗口までの歩道に屋根を設置し、雨天時や炎天下のなかでも、住民、観光客が快適に乘船、下船できる屋根付き歩道を整備し機能強化を図る。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a)当初予算額	48,950	-			
	(b)予算現額	48,950	-			
	(c)増減額(b-a)	0	-			
	(d)繰越額	-	44,225			
	A.計(b+d)	48,950	44,225			
	B.執行済額	4,725	43,616			
	うち交付金充当額	3,780	21,316			
	次年度繰越額	44,225	-			
	執行率(%) (B/A)	9.7%	98.6%			
予算の状況の説明	屋根付き歩道は漁港の用途上「道路敷」にあり、沖縄県を通じて水産庁の許可を得る必要があり、その手続に時間を要し、工事を平成26年度に繰り越して実施した。					

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度
		屋根付き歩道の整備	目標 (実施)	()	()	()
	実績	実施				
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	平成25年度に設計委託業務として、現地調査・設計計画・実施計画・詳細設計を実施し、平成26年度に、土木工事・基礎工事・舗装工事・路盤工事・アルミ屋根本体設置を行った。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)	
		目標	()	(実施)	()	()	()
		実績		実施			
		目標	()	()	()	()	()
	実績						
進捗状況説明	平成27年3月中旬に整備が完了し、梅雨時期、夏のトップシーズンに向け住民、観光客が、雨天時や炎天下でも安心・安全に乘船・下船できるような環境づくりができ、天候に左右されない快適な玄関口として、観光基盤の向上が図られた。						

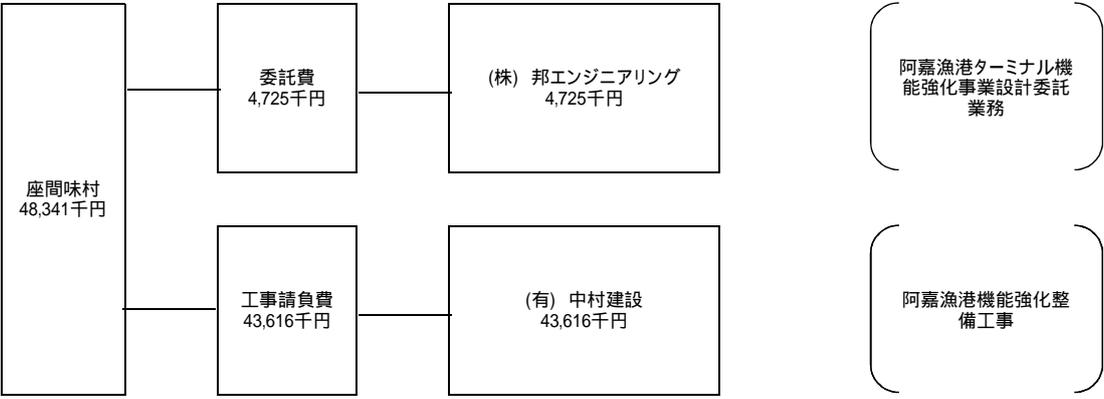
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 観光客や住民が、高速旅客船の乗り降り待ちの雨天時には全身、荷物等が濡れている状態で、次の場所に移動しなければならなかったり、日射病で救急に運ばれる人も出る状態であった。 関係機関との調整に不測の期間を要し、26年度に繰り越して事業を実施した。阿嘉漁港土地利用に関しては、沖縄県を通じて水産庁の許可を得る必要があり、その手続に時間を要し不測の日数を要した。 	<ul style="list-style-type: none"> 観光客受入態勢の整備として村の玄関口である阿嘉港ターミナルに全天候型の屋根付き歩道を整備し、観光客、住民が快適に、高速旅客船の乗り降り待ちができるようになり、快適な観光地形成を構築できた。 今後事業実施に際しては、事業関係者とこれまで以上に緊密に意思疎通を図るとともに、不測の事故が発生しても契約期間の延長がないよう余裕を持った工期設定を行いたい。 用途上の場所についても沖縄県と調整し、事業が円滑に進むように協議していく必要がある。

今後の取組み方針

・平成27年度には、フェリー旅客船側の屋根付き歩道を整備していく予定があり、特に国立公園の指定を受けた以降観光客が増加しており、利用者の利便性の向上に努めたい。
 ・関係機関との連携を密にとり、早期発注をし、年度内完了を目指す。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
48,341	48,341	25,096	23,245	0



資金の流 れ、 点 検 評 価 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 予算規模については不用額は609千円であったが、適正な規模であったと考えている。 費目・用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	